警備員教育計画書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 新任、現任教育別 | | 新任（一般　特例）　現任 | |  | | | | | |
| 年　　　月　　　日　作成 | | | | 警備業法施行規則第66条第1項第５号 | | | | | |
| 教　育　期 | 自　　　　　年　　　月　　　日　　　至　　　　　年　　　　月　　　日 | | | | | | | | |
|  | 警備員の区分範囲 | | 教　　　育　　　事　　　項 | | 具　　　　体　　　　的　　　　内　　　　容 | 教育方法 | 実施時期 | 時間数 | 実施者氏名 |
| 業務別教育 | 新たに警備業務に  従事させようとする  警備員  （施設警備業務） | | イ　警備業務対象施設における人  　又は車両等の出入の管理の方法  　に関すること | | イ、出入管理の種類・方式  　ロ、出入管理簿の意義と目的  ハ、人、物、車輌の出入管理の実際 | 講　義  及び  実　技 | 採用の  都　度 | 1 |  |
| ロ　巡回の方法に関すること | | イ、巡回の種類と方法・目的と効果  　ロ、効果的な巡回の方法  　ハ、巡回実施上の留意事項 | 講　義  及び  実　技 | 1 |  |
| ハ　警報装置その他当該警備業務  　を実施するために使用する機器  　の使用方法に関すること | | イ、ローカルシステムの意義  　ロ、警報機器の種類と機能（警報受信番・検知器・  　　感知器の作動原理）  ハ、警報機器・その他の機器の取り扱い方法 | 講　義  及び  実　技 | 1 |  |
| ニ　不審者又は不審な物件を発見した場合にとるべき措置に関すること | | イ、不審者の定義  　ロ、不審者に対する声のかけ方質問の仕方  　ハ、不審者と対峙した場合の対処方法  　二、受傷事故の防止に関すること | 講　義  及び  実　技 | 1 |  |
| ホ　その他当該警備業務を適正に  　実施するため必要な知識及び技  　能に関すること | | イ、事件・事故の事例研究  　ロ、警備計画書・警備指令書の意義と重要性  　ハ、報告の重要性・報告要領（緊急報告・定時報告  　　　業務連絡・報告連絡の方法）  　二、応急手当の方法  ホ、その他実地研修 | 講　義  及び  実　技 | 6 |  |
|  |  | |  | |  |  |  | （１０） |  |
| 警備員指導教育責任者 |  | | |